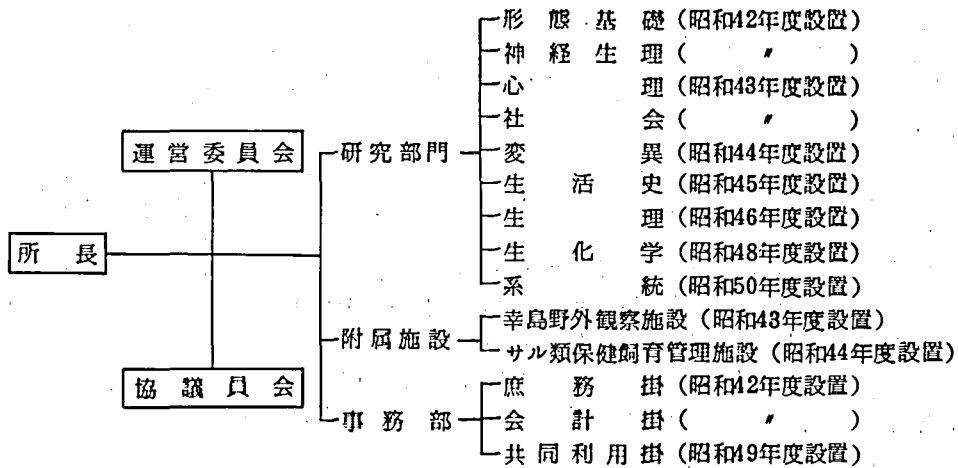


I 研究所の概要

1. 組織 (昭和54年3月30日現在)



所長 河合雅雄

運営委員 (50音順)

- 伊谷 純一郎 (京大・理)
- 糸魚川 直祐 (阪大・人科)
- 今西 錦司
- 伊澤 紘生 (日本モンキーセンター)
- 江原 昭善 (霊長研)
- 大澤 濟 (霊長研)
- 久保田 競 (霊長研)
- 桑原 萬壽太郎 (基礎生物学研究所長)
- 近藤 四郎 (霊長研)
- 四手井 綱英 (日本モンキーセンター)
- 水原 洋城 (東京農工大)
- 室伏 靖子 (霊長研)
- 渡辺 直経

事務長 須羽 治夫

現員 (昭和54年3月30日現在)

年度	区分	教授	助教授	助手	小計	一般職員等	非常勤員	小計	合計
昭和53年度		9人	8人	23人	40人	30人	11人	41人	81人

大学院学生および研修員 (昭和54年3月30日現在)

年度	区分	博士課程	修士課程	研修員	合計
昭和53年度		12人	6人	6人	24人

2. 予算概況

昭和53年度経費(項)研究所

経常経費		共同利用施設 運営費	計	科学研究費	合計
人件費	物件費				
250,843 ^冊	139,275 ^冊	71,475 ^冊	461,593 ^冊	64,790 ^冊	526,383 ^冊

科学研究費

年度・種別	研究課題	研究代表者	補助金額
昭和53年度			
特定研究(2)	反応時間によるサルの利き手の神経機構の解明	松波 謙一	400
	・ 視床下部ホルモン因子の不活性化機構に関する基礎的研究	林 基治	400
	・ 色の短期記憶に関与する脳内機構の研究	三上 章允	600
	・ 生体膜成分としてのプロテアーゼの性状と機能の研究	高橋 健治	500
総合研究(A)	バイベダリズムの進化における小型類人猿モデルの位置の検討に関する研究	近藤 四郎	1,500
	・ 酵素活性発現の分子機構	高橋 健治	2,700
一般研究(A)	視覚性学習行動におけるサル前頭前野機能の神経生理学的行動学的研究	久保田 競	1,500
	・ ニホンザルの寒冷適応	大澤 濟	2,000
	・ チンパンジーの言語の習得とその脳内機構に関する研究	室伏 靖子	4,000
(B)	ニホンザル地域集団における性の役割についての社会生物学的研究	東 滋	500
	・ ニホンザルの集団遺伝学的研究	野澤 謙	1,000
	・ エソロジーの立場にもとづくニホンザル社会の研究	川村 俊蔵	3,300
	・ 霊長類の排卵機序に関する研究	大島 清	4,500
	・ ミクロソーム膜結合プロテアーゼの精製およびその性状と機能の研究	高橋 健治	6,000
(C)	ニホンザル自然社会の人口学的研究	杉山 幸丸	1,800
	・ 霊長類にみられる性的二型の形態学的行動学的分析	江原 昭吾	1,600
	・ ニホンザル胎児型ヘモグロビンの構造と性質	竹中 修	1,800
	・ 霊長類の短期記憶に関する研究	松澤 哲郎	200
(D)	霊長目におけるペプシノーゲンとペプシンに基づく種間変異と系統関係	泉山 節	400
	・ HRPの細胞内圧力注入法による前頭前野注意ニューロンの形態学的生理学的研究	酒井 正樹	440
	・ 日本出土のニホンザル古骨に関する形態学的調査研究	渡辺 毅	350
奨励研究(A)	霊長類の視空間知覚に関する心理物理学的比較心理学的研究	松澤 哲郎	300
	・ カプトガニの血液凝固因子に関する比較生理学的研究	中村 伸	400
	・ サル類の精液採取に於ける電気刺激の研究	松林 清明	400
試験研究(2)	蛋白質分解酵素を用いたサル類骨格標本作製法の研究	竹中 修	2,000
	・ 追跡運動の神経機構を研究するためシステムとその処理プログラムの開発	久保田 競	4,000
	・ マカク属サルのセミ・オープン条件での繁殖に関する基礎的研究	大島 清	6,000
海外学術調査 (現地調査)	ケニヤ北部乾燥地域における遊牧民農牧民の生態人類学的研究	田中 二郎	10,500
・ (総括)	熱帯アジアにおけるヤセザル類の比較社会学的研究の調査総括	川村 俊蔵	3,500
・ (総括)	南米大陸における広鼻猿類の系統進化に関する調査総括	渡辺 毅	2,200

3. 図書・資料

第1表に1978年度までの書籍(雑誌を除く)の購入

状況を、第2表に和・洋雑誌の総数を、第3表にそれらのリストを示した。なお、第3表の雑誌リストには1979年度に購入をはじめた雑誌も含まれている。

第1表 部門別蔵書冊数

部門	和 書			洋 書		
	1967~77	1978	計	1967~77	1978	計
形態基礎部門	56	0	56	57	0	57
神経生理部門	20	0	20	124	1	125
心理部門	6	0	6	258	14	272
社会部門	46	0	46	115	0	115
変異部門	12	5	17	38	0	38
生活史部門	29	0	29	129	1	130
生理部門	35	0	35	58	1	59
生化学部門	0	0	0	11	3	14
系統部門	0	0	0	13	4	17
サル施設	57	2	59	64	1	65
幸島施設	5	1	6	19	0	19
学生用図書 ¹⁾	21	5	26	29	6	35
中央図書館	116	26	142	78	8	86
研究林図書室 ²⁾	78	0	78	0	0	0
大学院 ²⁾	212	7	219	206	39	245
寄贈	26	0	26	15	0	15
製本雑誌	85	26	111	38	26	64
吉場文庫 ³⁾	107	18	125	1,673	250	1,923
徳田文庫	46		46	61		61
長谷部文庫	598		598	219		219
計	148		148	211		211
計	1,703	90	1,793	3,416	354	3,770

注 1) 本部で購入し、豊長研に備え付けてあるもの。 2) 1975~76年のみ。
3) 吉場文庫は全て寄贈の欄に記されるべきものであるが、ここでは別扱いとした。

第2表 a. 年度別和洋購読雑誌数

年度	和雑誌	洋雑誌
1969	4	47 + 1
1970	4	58 + 1
1971	18 + 1	63 + 1
1972	14 + 1	75 + 1
1973	19 + 1	83 + 1
1974	18 + 1	101 + 1
1975	16 + 1	97 + 1
1976	19 + 1	98 + 3
1977	20 + 2	98 + 2
1978	20 + 2	97 + 2

* +は寄贈。

** 1967~68年度については、資料が欠落している。

*** 中国雑誌は図書分類上、和雑誌にカテゴライズされている。

第2表 b. 1978年度の部門別購読雑誌数

部門	和雑誌	洋雑誌
形態基礎	0	9
神経生理	1	10*2
心理	0	21
社会	0	7
変異	5*1	5
生活史	0	10
生理	2	11*2
生化学	0	9
系統	0	3
サル施設	2	5
幸島施設	0	2
図書室	10	6
計	20	97*3
寄贈	2	2
総種類数*4	22	98

*1...変異部門の和雑誌はすべて中国雑誌。

*2...同一誌を2部門で費用折半しているものを含む。

*3...*2について計20とする。

*4...2部購読しているものなどを除くため、購読数の合計より少なくなる。

第3表 a. 和雑誌および中国雑誌リスト

(1979年6月1日現在)

和 雑 誌	刊行区分 ¹⁾	所蔵巻 (年号) ²⁾
科学朝日	図書室 M	[38 (1968)]+
自然科学	" M	[28 (1968)]+
出版ニュース	" M	[23 (1968)-24 (1969)]+
学術月報	寄贈 3/M	[1969] +
生物科学	図書室 M	[21 (1969)]+
生体の科学	" Q	28 (1976)+
遺言	" M	27 (1976)+
生物学ニュース	" M	[30 (1976)]+
科学新聞	" M	5 (1976)+
バイオテク	" M	(1977)+
脳と神経	" W	(1977)+
神経研究の進歩	"	[4 (1973)]
ホルモンと臨床	神生 M	24 (1972)+
医学と生物学	BM	16 (1972)-19 (1975)
日本医事新報	生理 M	[19 (1971)]+
最新医学	" M	82 (1971)+
産婦人科の世界	W	[1971-1973]
産科と婦人科	M	26 (1971)-30 (1975)
蛋白質・核酸・酵素	M	23 (1971)-24 (1972)
臨床検査	M	38 (1971)-39 (1972)
日本獣医師会雑誌	M	[18 (1973)-21 (1974)]
週刊ペット百科	サル施 M+1	[15 (1971)]+
世界動物百科	" M	26 (1973)+
モンキー	W	1 (1975)-48 (1975)
中国雑誌	寄贈	1 (1971)-192 (1974)
古脊椎動物与古人類	変異 2N	1 (1957)+
考古学報	" 2N	11 (1973)+
植物学報	" Q	(1973)+
動物学報	" Q	15 (1973)+
地質科学	" Q	19 (1973)+
	" Q	(1973)+

第3表 b. 洋雑誌リスト (1979年6月1日現在. 定期刊行図書を含む)

雑 誌 名	刊行区分 ¹⁾	購読部門	所蔵巻 (年号) ²⁾
Abstracts & Reviews in Behavioral Biology (formerly Communications in Behavioral Biology, Pt. B).	A M		11 (1973)-14 (1974)
Acta Endocrinologica.	D M		75 (1974)-80 (1975)
Acta Physiologica Scandinavica.	Sd M	神生	78 (1970)+
Acta Neurobiologiae Experimentalis.	P BM	"	32 (1972)+
Advances in Enzymology and Related Areas of Molecular Biology.	A SA	生化	40 (1974)+
Advances in Protein Chemistry.	A A	"	28 (1974)+
American Anthropologist.	A Q	変異	70 (1968)+

American Journal of Anatomy.	A	M	サル施	139(1974)+
American Journal of Human Genetics.	A	BM	変異	20(1968)+
American Journal of Obstetrics and Gynecology.	A	SM	生理	110(1971)+
American Journal of Physical Anthropology.	A	BM	形態	28(1968)+
American Journal of Physical Medicine.	A	BM		50(1971)- 57(1978)
American Journal of Physiology.	A	M	生理	222(1972)+
American Naturalist.	A	BM	生活史	106(1972)+
American Psychologist.	A	M	心理	29(1974)+
Analytical Biochemistry.	A	M	生化	57(1974)+
Anatomical Record.	A	M	形態	166(1970)+
Anatomischer Anzeiger.	G	10N	"	126(1970)+
Animal Behavior.	E	Q	心理	17(1969)+
Animal Learning & Behavior.	A	Q	"	1(1973)+
Annals of the New York Academy of Sciences.	A	A		[115, 117, 118, 134, 147, 156, 157, 159, 160, 162, 164, 165, 166, 167, 169]
Annual Review of Biochemistry.	A	A	生化	43(1974)+
Annual Review of Ecology and Systematics.	A	A	系統	1(1970)+
Annual Review of Physiology.	A	A		26(1964)- 27(1965)
Annual Review of Psychology.	A	A	心理	16(1965)+
Anthropologie.	F	Q		72(1968)- 74(1970)
Anthropologischer Anzeiger.	G	Q	形態	31(1968)+
Anthropological Quarterly.	A	Q	生活史	41(1968)+
Archives Italiennes de Biologie.	I	Q		106(1968)- 113(1975)
Archeves Suisses d'Anthropologie Generale.	S			32(1967)- 35(1971)
Australian Journal of Zoology.	Au	4N	社会	22(1974)+
Behaviour.	H	16N	心理	33(1969)+
Behavior Research Methods and Instrumentation.	A	BM	"	1(1968)+
Behavioral Ecology and Sociobiology.	G	Q	生活史	1(1976)+
Behavioral Science.	A	BM		10(1965)- 22(1977)
Behavioral Biology (formerly Communications in Behavioral Biology, Pt. A).	A	M	図書室	7(1972)- [8(1973)]+
Bibliography of Reproduction.	E	M		17(1971)- 26(1975)
Biochemical Genetics.	E	BM	変異	16(1978)+
Biochemistry.	A	BW	生化	13(1974)+
Biochemical & Biophysical Research Communications.	A	SM	"	56(1974)+
Biochimica et Biophysica Acta (Protein Structure).	H	12N	"	P30(1974)+

Biology of the Neonate.	S	M		26(1975)- 29(1976)
Brain, Behavior and Evolution.	S	BM	心理	1(1968)+
Brain Research.	H	W	神生	1(1966)+
Bulletins et Memoires de la Societe d'Anthropologie de Paris.	F	Q		3(1968)- 6(1970)
Bulletin of Psychonomic Society.	A	M	心理	1(1973)+
Canadian Journal of Psychology.	C	Q		19(1965)- 30(1976)
Canadian Journal of Neurological Sciences.	C	Q	神生	4(1977)+
Communications in Behavioral Biology.	A	M		2(1968)- [9(1972)]
Conditional Reflex.	A	Q		4(1969)- 6(1971)
Cortex.	I	Q		9(1973)- 11(1975)
Current Anthropology.	A	Q	生活史	1(1960)+
Current Contents: Behavioral, Social & Educational Sciences.	A	W		1(1969)- 5(1973)
Current Contents: Life Sciences, with Weekly Subject Index.	A	W	生化	12(1969)- 16(1973), 19(1976)+
Developmental Psychology.	A	BM	心理	1(1969)+
East African Wildlife Journal.	E	Q	社会	15(1977)+
Ecological Monographs.	A	Q	社会	40(1970)+
Electroencephalography and Clinical Neurophysiology.	H	M		1(1949)- 41(1976)
Electromyography and Clinical Neurophysiology (formerly Electromyography)	Be	5N		11(1971)- 18(1978)
Endocrinology.	A	M	生理	90(1972)+
Evolution.	A	Q	系統	30(1976)+
Excerpta Medica. Sect. 1	H	M		22(1968)- 24(1970)
Excerpta Medica. Sect. 10	H	M		24(1971)- 25(1972)
Experimental Brain Research.	G	3V	神生	1(1966)+
Experimental Neurology.	A	M	神生	1(1959)+
Federation Proceedings.	A	M		32(1973)- 34(1975)
Fertility and Sterility.	A	M	生理	23(1972)+
Folia Primatologica.	S	8N	圖書室 罕鳥施	1(1961)+
Genetics.	A	M	變異	88(1978)+
Hormones and Behavior.	A	Q	生理	2(1971)+
Human Biology.	A	Q	形態	40(1968)+
Human Ecology.	A	Q	生活史	2(1974)+
Journal of the American Veterinary Medical Association.	A	SM		160(1972)- 163(1973)
Journal of Animal Ecology.	E	3N	生活史	39(1970)+

Journal of Anthropological Research (formerly Southwestern Journal of Anthropology).	A	Q	生活史	29(1973)+
Journal of Applied Physiology.	A	M	生理	32(1972)+
Journal of Biological Chemistry.	A	SM	生化	249(1974)+
Journal of Biomechanics.	E	BM	形態	7(1974)+
Journal of the Bombay Natural History Society.	India			58(1961)- 59(1962)-
Journal of Bone and Joint Surgery (American Volume).	A	8N		52A(1970)- 59A(1977)
Journal of Bone and Joint Surgery (British Volume).	A	4N		52B(1970)- 59B(1977)
Journal of Comparative Neurology.	A	SM	神生	144(1972)+
Journal of Comparative and Physiological Psychology	A	M	心理	59(1965)+
Journal of Ecology.	E	3N	生活史	58(1970)+
Journal of Endocrinology.	E	M		49(1971)- 67(1975)
Journal of the Experimental Analysis of Behavior.	A	BM	心理	1(1958)+
Journal of Experimental Psychology: General.	A	Q	//	79(1969)+
Journal of Experimental Psychology: Animal Behavior Processes.	A	Q	//	1(1975)+
Journal of Experimental Psychology: Human Learning & Memory.	A	BM	//	1(1975)+
Journal of Experimental Psychology: Human Perception & Performance.	A	Q	//	1(1975)+
Journal of General Physiology.	A	M	生理	71(1978)+
Journal of Human Evolution.	E	BM	形態	1(1972)+
Journal of Mammalogy.	A	Q	変異	52(1971)+
Journal of Medical Primatology.	S	BM	生理	1(1972)+
Journal of Molecular Evolution.	G	4N	生化	4(1974)+
Journal of Neurochemistry.	E	M	//	22(1974)+
Journal of Neurophysiology.	A	BM		31(1968)- 38(1975)
Journal of Physiology.	E	SM	{神生 生理}	156(1961)+
Journal of Reproduction and Fertility.	E	M	サル施	32(1973)+
Journal of Theoretical Biology.	E	SM		64(1977)- 69(1977)
Journal of Wildlife Management.	A	Q	社会	33(1969)+
Laboratory Animals.	E	2N	サル施	1(1967)+
Laboratory Animal Science.	A	BM	//	20(1970)+
Laboratory Primate Newsletter.	A	Q	寄贈	12(1973)+
Life Sciences. Pt. 1: Physiology and Pharmacology.	E	SM		11(1972)- 12(1973)
Malayan Nature Journal.	Malaya			17(1963)
Man: Journal of Royal Anthropological Institute.	E	Q	生活史	3(1968)+
Memory & Cognition.	A	Q	心理	1(1973)+
National Geographic.	A	M	図書室	151(1977)+
Nature.	E	W	//	217(1968)+
Nature: New Biology.	E	W		(229(1971)- 246(1973))

Nature: Physical Science.	E	W	(229(1971)- 246(1973))
Neuroendocrinology.	S	M	生理 7(1971)+
Neuropsychologia.	E	Q	神生 1(1963)+
Нейрофизиология.	R	6N	2(1970)- 7(1975)
Oikos.	D	3N	社会 25(1974)+
Oryx: Journal of the Fauna Preservation Society.	E	3N	" 12(1973)+
Proceedings of the National Academy of Sciences, U.S.	A	M	生化 71(1974)+
Perception & Psychophysics.	A	M	心理 19(1976)+
Perceptual and Motor Skills.	A	BM	28(1969)- 43(1976)
Physiology and Behavior.	E	M	心理 1(1966)+
Physiological Reviews.	A	Q	神生 50(1970)+
Physiological Zoology.	A	Q	生理 45(1972)+
Physiological Psychology.	A	Q	心理 1(1973)+
Primates: Journal of Primatology.	J	Q	{寄贈 幸島施 1(1958)+
Prostaglandins.	A	M	1(1972)- 12(1976)
Psychological Abstracts.	A	M	心理 39(1965)+
Psychological Bulletin.	A	M	" 63(1965)+
Psychological Review.	A	BM	" 73(1966)+
Psychonomic Science.	A		1(1964)- 29(1972)
Researches on Population Ecology.	J		8(1966)- 9(1967)
Science.	A	W	図書室(1966-1968)- 163(1969)+
Scientific American.	A	M	" 220(1969)+
Southwestern Journal of Anthropology.	A	Q	24(1968)- 28(1972)
Soviet Anthropology and Archaeology.	A	Q	生活史 7(1968)+
Soviet Psychology.	A	Q	7(1969)- 9(1971)
Symposia of the Zoological Society of London.	E		1,2,4,8,10, 13,15,17,18, 21,23,24,26
Systematic Zoology.	A	Q	系統 25(1976)+
Terre et la Vie.	F	Q	社会 30(1976)+
Wildlife Monographs.	A	"	(19(1970)- 57(1977))+
Wildlife Society Bulletin.	A	"	1(1973)- 3(1975)+
Zeitschrift für Morphologie und Anthropologie.	G	3N	系統 60(1968)+
Zeitschrift für Versuchstierkunde.	EG	BM	14(1972)- 20(1978)

- | | | |
|-----------|-----------------|---------------|
| 1) W = 週刊 | Q = 季刊 | 4 = 年4回 (不定期) |
| 3/M = 旬刊 | A = 年刊 | 5 = 年5回 // |
| SM = 月2回 | 2V = 年2巻 (冊数不定) | 6 = 年6回 // |
| M = 月刊 | 2N = 年2回 (不定期) | 8 = 年8回 // |
| BM = 隔月刊 | 3N = 年3回 (不定期) | 12 = 年12回 // |
- 2) [] は次号があることを示す。

霊長類研究所図書室利用規定

I. 開室時間と休室

1. 開室時間

平日：9時から17時まで。

土曜日：9時から12時まで。

2. 休室

日曜日，国民の祝祭日，年末・年始は休室とする。

その他の臨時休室は，その都度掲示する。

II. 閲覧

1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の教職員・大学院生及び研修員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員で閲覧者カードを提出するもの。
- 3) 本研究所教職員の紹介のあるもの。

2. 閲覧

- 1) 閲覧者は図書室内で図書（単行本，雑誌，その他の資料）を自由に閲覧できる。
- 2) 閲覧後の図書は必ずもとの場所にもどす。
- 3) 書庫および閲覧室内は禁煙とする。

III. 貸出および返却

1. Iの1・1)及び2)の該当者は，下記に従い図書を借用できる。すべての借用資料は，原則として所外に持出すことはできない。

a. 単行本

- 1) 単行本は1カ月間借用できる。
- 2) 借用時には，ブックカードおよび代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ，代本板用紙は代本板の背にそう入して，書架上の本のあった位置に置く。

b. 製本雑誌

- 1) 製本雑誌は8日間借用できる。
- 2) 借用方法は単行本に準じる。

c. 未製本雑誌

- 1) 未製本の雑誌は15時から翌朝10時までの間に限り借用できる。

- 2) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。

d. 別刷*

- 1) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。

- 2) 利用後は，返却台上の箱に返却する。

2. 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。

3. 借用中の資料を転貸してはならない。

4. 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。ただし，他に借用希望者がある時は，そちらを優先する。

5. 借用後の図書は返却台に返却する。

IV. 総点検および長期貸出

1. 毎年1回図書の総点検を行なう。この時は，貸出期限内外を問わず，すべての図書を返却する。

2. 総点検期間中，原則として図書室は休室とする。

3. 図書委員会により研究室等への備えつけが認められた図書は，長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で，長期貸出扱いの更新は総点検時に行なう。

V. その他

1. 資料を粉失したり汚損した場合は，代本または相当の代金で補わなければならない。

2. 借用資料を期日までに返却しなかった場合，以後の貸出を一定期間停止されることがある。

* 図書室では霊長類関係の研究報告の別刷を1977年度より系統的に集めており，1979年7月現在9,600部を所蔵している。

資料

1977年度の研究棟増築にともなって設けられた

約40㎡の3階資料室の実際の活用をはかることになり、まず標本棚、標本箱等の充実、ついで一部資料の整備がここで始められた。骨標本ならびに化石カストを中心とした永久標本がここに整理保管され、研究への利用化がはかられることになるが、完全な充実までにはなお暫くの期間が必要である。

一方、例年の方式に従って、実験殺等で生ずるものほか、一部所外よりの入手も含めて、霊長類死体の収集が行われ、研究用の液浸標本ないしは骨標本として管理保管される作業が進められた。資料の蓄積が行われてきた結果、所内外の研究者にかなり利用されるようになってきている。

重要な課題として、資料の充分なリスト化が望まれているが、液浸標本の定期的ホルマリン入れかえや、骨標本作製等の実作業をまず優先させざるをえない状態にあり、また、委員の海外出張が重なったこともあって、実現は次年度以降に持ちこされた。

なお、資料関係に要した経費は、資料収集用旅費も含めて約53万円であり、資金としては所内全体より資料委員会あてに振りあてられた予算を中心に、一部、系統・形態基礎両部門よりの拠出があった。(岩本)

4. 研究活動

形態基礎研究部門

近藤四郎・岩本光雄
渡辺 毅・毛利俊雄

研究概要

1) バイペダリズムの起源に関する研究

近藤四郎

科学研究費(総合研究A)「バイペダリズムの進化における小型類人猿モデルの位置の検討に関する研究」のまとめの年度にあたっていないので、私の分担事項であるアジルテナガザル、シロテナガザルなどの比較解剖を行った。サルの下肢筋の起始、終止の決定は、むつかしいがさらに筋の作用を推定することは、なお、むつかしい。ヒトでは股関節の伸筋である大腿筋がヒト化の段階において、従来いわれていたように外転作用をもっていたものかどうか、乏しい化石標本を見くらべ

ながら、検討を進めている。

2) 旧世界ザル、特にマカクに関する形態学的研究

岩本光雄

主としてニホンザルに関して研究を進め、永久歯期ニホンザルの発育に関する資料(歯式と生体計測値)、ニホンザルの皮膚隆線系に関する資料、ならびに山口県秋吉台および北九州市平尾台出土のニホンザル古骨に関する記録の整理、分析を行った(継続)。

3) エチオピア国における現生ならびに化石霊長類に関する研究

岩本光雄

文部省海外学術調査費によりエチオピアにおもむき、ゲラダヒヒに関する形態学調査(生体計測、皮膚隆線系資料の採取、歯式ならびに観察的特徴の記録)と、オモ川下流域におけるヒヒ化石に関する調査を行った。

4) 霊長類の成長に関する研究

渡辺 毅

継続研究として、日本各地に生息するニホンザルの生体計測にもとづくデータを蒐集中であるが、今回は伊豆波勝崎で野外調査をおこない、また霊長類研究所で飼育中の鳥取県若桜町出身のニホンザル3頭については出生直後より個体追跡法によってデータを蓄積した。

5) 新世界ザルの系統学的・形態学的研究

渡辺 毅

前年度におこなった海外調査の成果をとりまとめた。

6) 頭骨の非計測的変異によるヒトの集団間比較及び、その現生霊長類への応用

毛利俊雄

日本を中心としたヒトの集団(現代近畿人、樺太アイヌ人、南西諸島人、朝鮮人、縄文時代人等)の頭骨について約30項目の非計測的変異についてデータを集めた。また同様の手法を現生霊長類に適用するために関連する文献を収集した。

総説

- 1) 渡辺 毅(1978): キヌザル科の分類の現状。モンキー, 22-2.3, 46-51。
- 2) 伊沢拡生・渡辺 毅・稲垣晴久・松本久信(1978): キヌザル科のサルたちの新